

## テナガコブシ

岡山県：準絶滅危惧

十脚目

*Myra fugax* (Fabricius)

環境省：該当なし

コブシガニ科

## 選定理由

生息密度が低く希少で、生息地が局限される。

## 存続を脅かす要因

海岸開発、水質汚濁、海砂採取

## 分布状況

県内では瀬戸内市牛窓町周辺で記録されている。近隣の香川県小豆島～兵庫県姫路市家島間の海底でも得られている。

県外では男鹿半島・東京湾以南、九州までと、朝鮮海峡、東シナ海、インド・西太平洋に広く分布する。

## 生息情報

甲長 42mm、甲は赤褐色、円形で強く湾曲し、後端に鋭く大きい棘を持ち、その左右にも短い棘を並べる。鉗脚が著しく長く、甲長の3倍以上に達する。潮下帯～漸深海底の砂泥底に生息する。他県では普通種とされるが、岡山県では個体数は極めて少ない。

文献番号 114

(福田 宏)



## マメコブシ

岡山県：準絶滅危惧

十脚目

*Philyra pisum* de Haan

環境省：該当なし

コブシガニ科

## 選定理由

生息条件が悪化し、産地・個体数ともに減少傾向にある。

## 存続を脅かす要因

海岸開発（干潟減少、干拓、埋立）、水質汚濁

## 分布状況

県内では笠岡市見崎、倉敷市高梁川河口、岡山市南区小串、瀬戸内市牛窓町で確認されている。

県外では岩手県以南、南西諸島、朝鮮海峡、黄海、東シナ海に分布する。

## 生息情報

甲長 22mm、甲はオリーブ色で丸く、表面に顆粒を散在する。鉗脚は頑強で、長節の上下辺縁部及び背面基部に顆粒を具える。内湾の砂泥または砂礫干潟中部～下部に生息する。他県では普通に見られる種であるが、岡山県で確認された産地は上記4箇所のみであり、個体数も少ない。キンセンガニの項で述べたのと同様、良好な状態の砂質干潟が県内に少ないことが原因と思われる。

文献番号 114, 160

(福田 宏)

